

## 大学教育再生加速プログラム

(Acceleration Program for University Education Rebuilding ; AP)

### 取組の内容

本学は、地域産業界の熱い想いのもとに開学した工科大であり、「産業界及び地域の発展に貢献できる技術者」を輩出することを大きな使命としています。多様化する本学の入学者の力を最大限伸ばしながら学士としての質保証を図っていくことが、本学の喫緊の課題です。

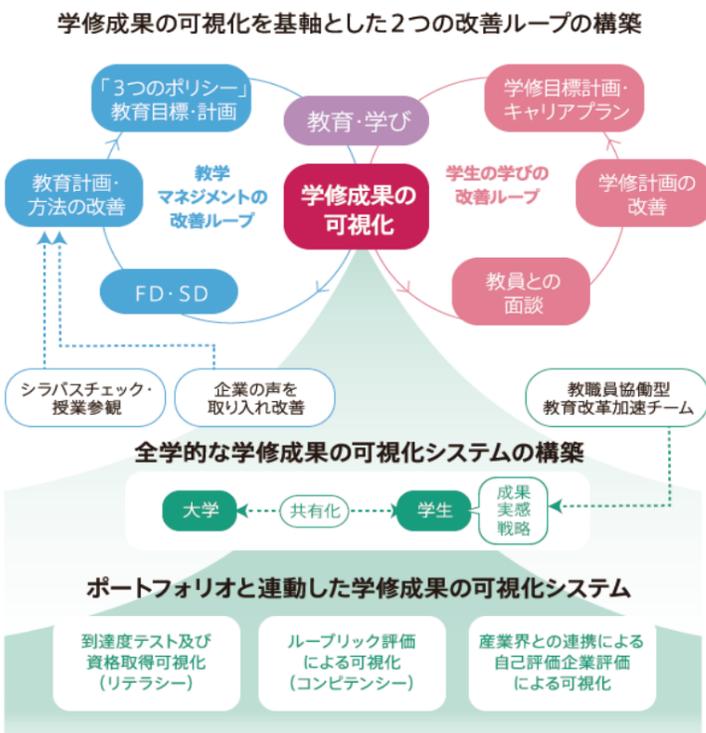
「大学教育再生加速プログラム」は、平成26年度に文部科学省にて新設された事業です。大学教育改革の方向性に合致した先進的な取り組みを重点的に国が支援することにより、改革を加速させるプログラムです。全国254の大学・短期大学・高等専門学校が申請し、本学を含む47校が採択されました。

この事業では、学生たちが日々成果を生み出し、そしてその実感を得ながら学びの改善ループを完遂させる「学修成果の可視化システム」を設計します。さらに、ディプロマポリシーに基づいた有機的な授業体系とすべく、教員らによる教学マネジメントの改善ループも連動させます。

なお、本学の就業力育成支援事業では、これまでにアクティブ・ラーニングのシステム、およびキャリアポートフォリオシステムの活用実績を積んできています。これらと一貫した運用による工学教育プログラムを学生に提供することによって、学士としての質保証を図るものとなります。

### 事業の組織とスケジュール

この事業は、いわゆる学長ガバナンスの考え方に基づく組織づくりを行っており、スピード感のある実施を心がけています。体制の整った項目から運用を開始し、H28年度には「学修の可視化システム」の運用を開始し、H30年度までに事業の検証を完了することを目指しています。

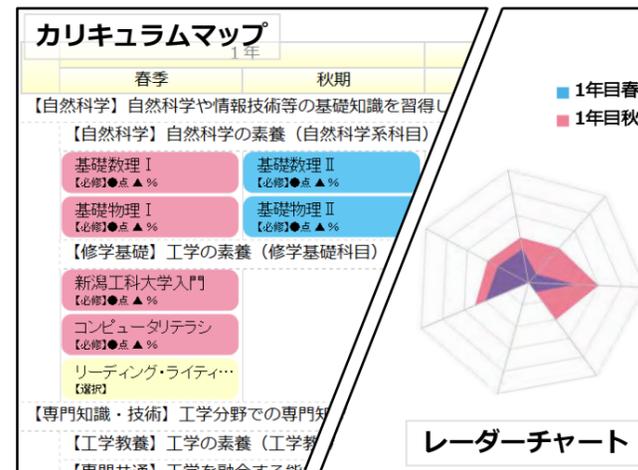
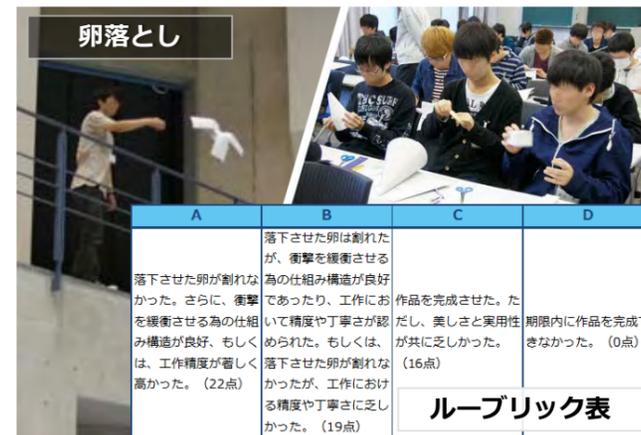


## 学修の可視化システムの開発

### 1) 「振り返り」を重視する

新入生の前期必修科目「工学ゼミⅠ」は、PBLベースのテーマに試行錯誤しながら取り組ませる授業です。

4月の課題は「卵落とし」。3mの高さから卵を落下させても割れない紙パッケージを、学生一人一人が考案して工作しました。エアバッグによる頭の衝撃緩和や、人工衛星のソフトランディングなどを考えることに通じる課題です。そして「ルーブリック評価」による厳密な成績評価を実施。割れたのか割れないのか、構造は、工作技術は、と多様な軸で客観的に評価することは、「学修の可視化」の第一歩となります。



### 2) 「成長」を意識する

ディプロマポリシーに基づく授業体系は、学生たちに確実に理解されなければなりません。「カリキュラムマップ」は、本学の学修の可視化システムの根幹をなすものです。履修登録、課題の振り返り、成績評価を知る、というあらゆるステージで、ディプロマポリシーごとに整理された授業体系がWeb上に提示されることとなります。自身の到達度は、レーダーチャートや星の数などの指標によってビジュアルに情報提供されるため、次の学期に取り組むべき課題の把握と戦略作りには欠かせないツールとなります。



### 3) 「社会」の求めを知る

学修の改善ループは、企業目線を加えることによって、より強固なループとなります。2月の「対話型企業技術・要素会」、そして3月の「学内合同会社説明会」には、2, 3年次学生の大部分が参加し、社会人としての意識を目覚めさせる場となりました。また、企業目線は、本学教員の教学マネジメントの改善ループを確かなものとする上でも重要です。本学の教育への期待をアンケートの形で受け止めました。

また、本学教員は、授業改善のための研修を頻繁に実施しています。3月には高知大学の俣野秀典先生をお招きし、「ルーブリック評価講習会」を実施。その成果は「工学ゼミ」をはじめ、いくつかの授業科目の成績評価に既に取り入れています。



◆最後に一言(飯野秋成 教授/就業力育成事業部会 副部長 兼 大学教育再生加速チーム チーム長)



「批判的にものを見る」は、オリジナリティの第一歩。さらに気づいてほしいのは「提案する」ことの大切さ。不便だね、ダメだね、というだけではなく、じゃあこうしようよ、といえるかどうか。そこに、社会人基礎力の根幹があるのでは。工学を学ぶことが、学生たちの提案力を伸ばすきっかけになってくれれば…そう思いながら日々、授業に取り組んでいます。

新潟工科大学 就業力育成事業部会(事務局:キャリア・産学交流推進課)  
 〒945-1195 新潟県柏崎市藤橋1719 TEL:0257-22-8110 FAX:0257-22-8123  
 e-Mail: career-sangaku@adm.niit.ac.jp  
 職業人育成事業HP: <http://www.niit.ac.jp/SHUGYO/>  
 大学教育再生加速プログラムHP: [http://www.niit.ac.jp/ap\\_business/](http://www.niit.ac.jp/ap_business/)

### 実施スケジュール

実施項目	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
ポータルサイト構築	システム設計・構築	→			
ポータルサイト運用	試行・チェック・改善	→			
ポータルサイト運用	カスタマイズ	→			
ポータルサイト運用	システム運用		→		
ルーブリック評価の作成と運用	実施前準備評価プロセス策定・運用マニュアル作成	→			
ルーブリック評価の作成と運用	実施・チェック・改善	→			
ルーブリック評価の作成と運用	本格実施		→		
ルーブリック評価の作成と運用	ディプロマポリシー策定	→			
ルーブリック評価の作成と運用	実施前準備・科目・評価指標・シラバス作成等	→			
ルーブリック評価の作成と運用	実施・チェック・改善	→			
ルーブリック評価の作成と運用	本格実施		→		
到達度テストの作成と実施	実施要領策定、問題指針の策定	→			
到達度テストの作成と実施	到達度テスト実施	→	→	→	→
到達度テストの作成と実施	資格取得による可視化について要領策定	→			
到達度テストの作成と実施	学修成果可視化結果分析/未到達者の対応		→		
技術・要素会の実施	実施要領の策定	→			
技術・要素会の実施	自己評価表及び企業評価の作成	→			
技術・要素会の実施	対話型企業技術・要素会実施	→	→	→	→
技術・要素会の実施	評価結果をもとにした教員との面談実施	→	→	→	→
情報発信	HP作成、取組状況を発信	→			
情報発信	事業取組リーフレット作成	→	→		
情報発信	教育改革シンポジウム開催		→		